

県内で農作業中の事故が相次いで発生しております。何れも農業機械による作業中での事故が原因です。慣れた作業においても、今一度、周囲の安全性を確認し事故防止を図って下さい。

また、県内では熱中症や脱水症等による救急搬送も増加しております。自らの注意も重要ですが、周囲からの注意喚起も含めて、事故防止に努めましょう。

■熱中症予防

- ①非常に暑い場所や炎天下等での長時間の作業は避ける。
- ②こまめな休憩と十分な水分補給をする。
- ③帽子をかぶり、直射日光にあたらない服装とする。
- ④周囲の人が気をを使う。

■熱中症の応急処置

- ①風通しの良い日陰等、涼しい場所に速やかに移動する。
- ②衣服をゆるめて、体から熱を放散する。
- ③冷水や冷やしたタオル等で、それをけい部や脇の下、足の付け根にあてて体を冷やす。
- ④自分で水が飲めるようであれば水分補給する。
- ⑤意識障害等、自分で水分摂取ができない場合など症状が重い場合は、緊急で医療機関に搬送する。



県内酪農家で農作業中の事故が多発
周囲からの注意喚起で事故防止を!!

総務管理課 〇八二四一六四一二〇七一

東日本大震災への酪農義援金 320万7千円を送金

生乳出荷組合員並びに役職員に対して協力を呼びかけた「東日本大震災・酪農経営復興支援義援金」に対して、134名から120万7千円の申し出がありました。これに組合から200万円の義援金を加え、320万7千円を(社)中央酪農会議が設ける指定口座(名義：酪農経営復興支援募金)に6月30日付けで送金しました。ご協力ありがとうございました。

平成23年度貸付金利率の最高限度 (前年据え置きを決定)

▼平成23年6月24日開催の第4回理事会で次のとおり決定しました。

- 1 平成23年度における貸付金利率の最高限度は年率5.5%(前年同様)
- 2 貸付金の種類別利率の上限を次のとおりとする。

種 類	上限利率	実行利率
①証書貸付金	年率5.0%。但し、組合強化積立預り金を担保に証書貸付を行う場合にあっては、担保額又は年率3%、担保額を上回る部分の証書貸付は5.0%とする。	同左(前年度と同率)
②購買貸越金	年率5.0%	年率4%(前年度4%)
③貸付牛	年率4.5%	年率2.9%(前年度2.9%)
④販売仮渡金	年率4.5%	年率3.5%(前年度3.5%)

酪農協会から
お知らせ

酪農共済制度“加入年齢を70歳に拡充 改定は平成23年11月1日から

▼現在、組合員等に参加頂いております①酪農共済、②酪農ハイ・メディカルSUPER、③酪農ハイ・メディカルSUPER IIの3つの酪農共済制度の満了年齢は67歳の誕生日の月末となっています。

これに対して、加入者の皆さんから多くの要望を受け、6月2日開催の全国酪農協会の役員会で70歳まで延長することが決定されました。

保障内容や掛金は現行と変わらず、酪農年金も現行どおり65歳からの給付となります。

つきましては、次の加入対象となる年齢を確認頂きまして、ご加入の検討をお願いします。

なお、昭和19年9月生まれの方は、平成23年10月1日満了脱退となりますのでご理解、ご了承をお願いします。

※ハイ・メディカル SUPER 加入に際しましては同意書・告知書が必要です。審査によりご加入が出来ないこともありますのでご了承ください。

加入年齢の範囲	酪農共済	酪農ハイ・メディカル SUPER	酪農ハイ・メディカル SUPER II	酪農年金 (変更無し)
現行		67歳		65歳
改定		70歳		65歳

お願い!!

酪農ヘルパー事業を利用される皆さんへ 酪農ヘルパー員から意見を聴く

▼酪農ヘルパー事業の今後の更なる円滑な運営を目的に、ヘルパー員からの意見を聴きました。平素、ヘルパー員は出役先「酪農家」の作業体系や環境が異なる条件下において、極力、酪農家に即した作業体系に応じるよう努力しております。

ここに意見や要望内容の一部を紹介します。

事業利用の酪農家の皆様の中で、この意見や要望への対応の必要性を感じられた方は、配慮下さいますようお願いします。

■ヘルパー要員からの意見・要望

- ①夕方作業は概ね午後9時には終了するよう作業時間帯に配慮願いたい。
- ②給餌・搾乳に際して、角によるわるさ、脚癖が悪い牛がいる。作業に支障が無いよう、平素の飼養管理から優しく牛に接することに配慮願いたい。
- ③パイプラインミルクカーの配線等不良で故障が目立つところがある。平素から機器施設のメンテナンスに配慮戴きたい。
- ④ヘルパー業務を行う上で、利用酪農家の休息時間が長い。ヘルパー員は朝夕の作業を終え、遠路帰宅している。この辺りの時間調整も考慮戴き、少しばかりの配慮をお願いしたい。
- ⑤搾乳前のPL検査も重要であるが、治療を徹底してもらいたい。
- ⑥使用する作業車両などブレーキが効かず危険である。酪農家自らの危険回避の点からも、点検整備による安全配慮をお願いする。

■酪農ヘルパー事業利用酪農家へのお願い

▼酪農ヘルパー事業を利用の酪農家の皆様におかれましては、ヘルパー員による作業従事が円滑に行きますよう、次の事項に留意下さいますようお願いします。

- ①予め「飼養一覧表」に主要伝達事項を記入しておいて下さい。
- ②配合飼料、粗飼料等は、必要量をわかりやすい場所に準備下さい。
- ③サイレージは必要量を取り出し、細断等を行い作業に従事しやすいよう準備願います。
- ④搾乳、飼養、哺乳業務に必要な器具類等は所定の場所に準備下さい。
- ⑤機器を洗浄する洗剤、殺菌剤等は直ちに使用できるよう用途別に準備し、希釈倍率等がわかるよう明示して下さい。
- ⑥搾乳施設及び冷却施設等は、仕様書並びに操作説明書をわかりやすい場所に常備しておいて下さい。
- ⑦ヘルパー事業利用の際は、特に、牛舎内の糞尿除去及び清掃を入念に行っておいて下さい。

“牛舎環境の改善”でこの夏を乗り切る 暑熱対策と乳質低下防止に努めましょう!!

平年よりも13日早い7月8日の梅雨明けから、連日猛暑のニュースが続いています。人間だけでなく、乳牛も暑さに弱い動物です。夏場の猛暑は、暑熱ストレスによる生産性の低下や分娩事故、受精遅延等を招き、酪農経営に大きな影響を与えます。組合員の皆さんには、暑熱対策と乳質低下に努めて頂き、生乳需要に対応できる生乳生産と乳牛達が快適に過ごせる夏に努めましょう。

■暑熱対策のチェックポイント■

1. 牛舎内の温度上昇防止・湿気とアンモニアを排出しましょう!

- ①牛舎の風通しは良くする。
(窓の開放、壁の開口部の設置、障害物の撤去、密飼いを避ける)
- ②屋根を断熱、冷却する。直射日光を遮る。
(屋根を白く塗装、屋根への散水、スプリンクラーの設置(要費用検討)。
日除け、ひさし、つる性の植物を植えて緑のカーテン)
- ③扇風機の送風向きや強さの調整。

2. 牛体からの放熱の促進に努めましょう!

- ①毛刈り、削蹄する(牛の快適性を高める)。
- ②牛体に送風する。
- ③熱放散を妨げないように牛体の汚れを落とす。

3. 飼料摂取量の減少防止と不足栄養分を補給

- ①新鮮な水を十分に給与する。
- ②品質の良い粗飼料を給与する。
(消化率の高い粗飼料の給与、切断長を短く給与回数を増やす)
- ③飼料の変敗を防止する。(飼料の定期的な管理、飼槽を清掃する)
- ④塩分、重曹などミネラル等を補給する。



(参考：全国酪農業協同組合連合会「電力に頼らない“暑熱対策”のヒント」)

第2四半期(7～9月)の製造飼料価格 配合飼料安定基金 4,700 円/トン発動

1. 広酪製造飼料の価格(主にTMR)

【平成23年度第1四半期との比較】

改定幅はkgあたりの価格差です。

* (価格変動の主な理由：乾草・穀類の値上げ, その他)

品目名	前期比較
広酪コンプリート1号	0.50 円
広酪コンプリート2号	0.40 円
広酪コンプリート3号	0.60 円
広酪TMRタイプT V2	0.40 円
広酪コンプリート4号	0.60 円
広酪TMRタイプT	0.60 円
広酪1号	1.00 円
サプリメント5号	0.70 円
TMRタイプA	0.70 円

2. 系統組織の価格動向

【平成23年度第1四半期との比較】

系統組織の名称	配合飼料	哺育脱脂粉乳
全国酪農業協同組合連合会	1.10 円	15,000 円/t
JA西日本くみあい飼料株式会社	1.20 円～ 1.55 円	15,000 円/t

* 配合飼料価格の改定幅はkgの単価で表示しています。

3. 安定基金の発動

平成23年度第2四半期は、第1四半期に引き続き 4,700 円/tの交付が実行されます。

東日本大震災義援 特別キャンペーン実施結果

～(対象商品：HR1014C & 広酪リンカルペレット)～

104,344 円!!

目標 100,000 円を突破。

(社)中央酪農会議の「酪農経営復興支援募金」口座へ送金致します。

らくのうだより 4 月号に掲載の P. B(広酪プライベートブランド)特別キャンペーンを実施しました。

商品名	期 間	売上数
HR1014C	5月～6月	489 本
広酪リンカルペレット	4月～6月	811 袋

※仕入れ先業者より、組合の仕入れ数量に応じて義援金の協力をいただいております。

今後とも引き続きご利用をお願いいたします。

熱中症予防に「牛乳」が効果的!?

NHK総合テレビ番組「ためしてガッテン」の7月13日放送分では、熱中症をテーマとして、この熱中症対策に「牛乳」が効果的と紹介されました。糖分を気にするスポーツドリンクだけに頼らず、この暑い夏を乗り切るために是非「牛乳」を皆さんに勧めてみませんか。

■塩分補給が本当に必要な時は?

昨今では、熱中症対策として塩分補給の重要性が叫ばれています。そんな中、塩分補給を必要とするのは大量に汗をかく場合であって、我々日本人は普段から必要以上に塩分を食事から摂取しているため、日常生活でジワジワと汗をかく場合には更に意識して塩分を補給する必要がないそうです。塩分補給を意識する目安は、玉のような汗を長時間かく時や、腕などを水洗いしてから舐めてもしよっぱいという時。その際にはスポーツドリンク等がおすすめです。

■「暑さに強い体」を作るには?

「暑さに強い体」とは、汗をかきやすく、体温が上がりにくい体だそうです。運動

する習慣によって、汗をかきやすくなり、暑さに強くなる効果があるそうです。

■その体づくりに効果的なものが「牛乳」

運動後に「牛乳」を飲むことが効果的との理由は「牛乳」に含まれる「たんぱく質」と、アルブミンが合成されますが、このアルブミンには水分を保持する働きがあるため、血液中にアルブミンが増えたと水分が引き込まれ、血液量が増えます。血液は汗の材料でもあるので、血液量が増えると汗をかきやすくなったり、皮膚血流の増加による熱放散をしやすくなったりして、体温が上がりにくい体になるそうです。

